

授業科目(ナンバリング)	スノースポーツ (CC309)			担当教員	中山 忠彦・神野 周太郎		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	3 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
冬季スポーツとしてのスキーやスノーボードに関する知識や技術を得ることを目標とする。また、規律ある集団生活を通して社会性を養うこと、冬の自然の美しさや厳しさを実感することにより、スポーツ指導者、保健体育教員として必要なスノースポーツに関する安全管理、実習計画の初歩について学ぶ。							④⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	授業で行う活動のルールを理解し、必要な指導技術を習得することができる。				技能テスト 知識の理解度確認	30%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	集団生活を通して、豊かな人間関係、社会性を築くことができる。				授業態度・授業への貢献度	20%	
協働・課題解決力	スノースポーツ実習の実施にあたるための知識を理解し、指導方法や運営について具体的に立案することができる。				実習日誌の作成 技術習得度・ルールの理解 (試験)	50%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業態度・授業への参加度を通して積極性をみると共に (評価基準 20%)、スノースポーツの技能習得度、技術体系や安全管理の理解度等を評価基準とする (評価基準 30%)。集団生活の中でリーダーシップを発揮し、初歩的な集団の安全管理を学べたか等も評価基準とする (評価基準 50%)。また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月下旬、4泊5日の日程でスノースポーツ (スキーまたはスノーボードを選択) を行う。</li> <li>・種目については、学生が希望した種目について期間を通して行う。</li> <li>・学生負担の諸経費の概算：110,000～120,000 円 (R5 実績：北海道テイネスキー場：航空機代、宿泊、朝食、保険、リフト代)</li> </ul> ※履修希望者が多数の場合は、抽選となることがある。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特になし 参考書：『日本スキー教程』(全日本スキー連盟, 2018) もしくは 『JSBA スノーボード教程』(日本スノーボード協会, 2008) 指定図書：『日本スキー教程』(全日本スキー連盟, 2018) もしくは 『JSBA スノーボード教程』(日本スノーボード協会, 2008)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
受講条件： <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルペンスキーまたはスノーボードの経験があり初級コースを安全に滑走できる技能を持つもの。</li> <li>・技能に不安があるものは授業開始までに必要技能を習得しておくこと。</li> </ul>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイドンス 事前指導 (4月)(10月)	授業の内容・展開方法、評価の方法等に関する説明 実習に必要な装備の説明	予習：シラバスに目を通しておく。 スキー・スノーボード講習に必要な装備の確認を行う。
2	学外実習① (1日目午後)	開講式 オリエンテーション 用具確認	予習：スキー・スノーボード講習に必要な装備の確認。装備の調整方法について学び準備する。
3	学外実習③ (2日目午前)	雪上実習① 雪上行動の基礎 安全管理	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。 予習：午後の講習に備え体調管理を行う。 専門用語の確認。
4			
5	学外実習④ (2日目午後)	雪上実習② ミドルターン・ロングターン スキーエリアでのマナー	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。 予習：翌日の講習に備え体調管理を行う。 ターンに必要な身体動作について確認。
6			
7	学外実習⑤ (3日目午前)	雪上実習③ ショートターン 観天望気と安全計画	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。 予習：午後の講習に備え体調管理を行う。 ターン弧に応じた身体動作について確認。観天望気の方法について確認。
8			
9	学外実習⑥ (3日目午後)	雪上実習④ フォーメーション滑走試走 教育旅行(スノースポーツ)計画の立案	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。 予習：グレンデマップを確認し、翌日のツアーの準備をする。翌日の講習に備え体調管理を行う。
10			
11	学外実習⑦ (4日目午前)	雪上実習⑤ スキーツアー スノースポーツで起こる傷害とその予防	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。 予習：午後の講習に備え体調管理を行う。 班別フォーメーション滑走の準備をする。
12			
13	学外実習⑦ (4日目午後)	雪上実習⑥ フォーメーション滑走 スノースポーツ検定について	復習：指導の内容について実技と理論を一致させる。
14	学外実習⑧ (5日目午前)	閉講式	復習：スノースポーツについての理解をまとめる。
15	事後指導	実習の振り返り	復習：実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。